

日本の大型鯨類調査についての進捗報告

2024 年 4 月から 2025 年 3 月

(統計データは 2024 暦年)

日本政府

要約

本報告は、一般財団法人日本鯨類研究所（ICR）、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所（FRI）および日本の水産庁（FAJ）が2024年4月から2025年3月にかけて収集した、大型鯨類のデータと標本に関する情報、ならびに2024年の捕獲・混獲・座礁統計を取りまとめている。大型鯨類の資源量推定に用いる目視データは、体系的な目視調査により北太平洋、オホーツク海、日本海および南極海で収集された。目視調査では大型鯨類の自然標識、バイオプシーおよび衛星標識実験が行われた。また、北西太平洋の排他的経済水域（EEZ）で行われた商業捕鯨での捕獲個体から、多数の生物標本も収集された。大型鯨類の混獲と座礁に関する種名と数は漁業者、漁業協同組合および一般市民からの報告をまとめた都道府県から水産庁への報告に基づく。収集されたデータと標本は分析の後、北太平洋と南極海における大型鯨類の資源管理に活用される。

1. 目視データ

	大海域	鯨種	年	中海域	発見頭数
南極海鯨類資源調査 (中低緯度目視調査を含む) (第二勇新丸、第三勇新丸) (2024/2025)	南極海	シロナガスクジラ	2024/2025	第IV区東側海域	26
		ナガスクジラ			74
		イワシクジラ			3
		クロミンククジラ			332
		ドワーフミンククジラ			5
		ザトウクジラ			1,527
		ミナミセミクジラ			3
		マッコウクジラ			7
		ミナミトックリクジラ			22
	北太平洋	マッコウクジラ	2024/2025	北西太平洋	1
夏季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第七開洋丸) (2024)	北太平洋	シロナガスクジラ	2024	北西太平洋	25
		ナガスクジラ			49
		イワシクジラ			98
		ニタリクジラ			76
		ミンククジラ			6
		ザトウクジラ			7
		マッコウクジラ			243
		マッコウクジラ			2
IWC-POWER 太平洋鯨類生態系調査 (第二勇新丸) (2024)	北極海 北太平洋	ホッキョククジラ	2024	チュクチ海 ベーリング海	78
		コククジラ			156
		ナガスクジラ			14
		イワシクジラ			6
		ミンククジラ			42
		ザトウクジラ			6
		マッコウクジラ			53
		ナガスクジラ			9
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2024)	北太平洋	ニタリクジラ	2024	北西太平洋 オホーツク海 日本海	41
		ミンククジラ			60
		ザトウクジラ			47
		マッコウクジラ			5
		ナガスクジラ			4
小型鯨類目視調査 (第七開洋丸) (2024)	北太平洋	ナガスクジラ	2024	日本海	5
		ミンククジラ			4

2. 標識データ

2.1 自然標識データ

	大海域	鯨種	年	中海域	撮影箇所	撮影個体数
南極海鯨類資源調査 (第二勇新丸、第三勇新丸) (2024/2025)	南極海	シロナガスクジラ	2024/2025	第IV区東側海域	頭部、背鰭、体側	24
		ドワーフミンククジラ			体側	1
		ザトウクジラ			尾鰭	36
		ミナミセミクジラ			頭部、尾鰭	3
IWC-POWER 太平洋鯨類生態系調査 (第二勇新丸) (2024)	北極海 北太平洋	ホッキョククジラ	2024	チュクチ海 ベーリング海	体側	1
		コククジラ			体側	5
		ナガスクジラ			背鰭	34
		ザトウクジラ			尾鰭、背鰭	14
夏季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第七開洋丸) (2024)	北太平洋	シロナガスクジラ	2024	北西太平洋	背鰭、体側	1
		ザトウクジラ			尾鰭	1
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2024)	北太平洋	ザトウクジラ	2024	北西太平洋 オホーツク海 日本海	頭部、背鰭、尾鰭	5
八丈島ザトウクジラ乗船調査 (明丸)(2025)	北太平洋	ザトウクジラ	2025	八丈島沿岸	尾鰭	89

2.2 衛星標識データ

	大海域	鯨種	年	中海域	形式	装着数
南極海鯨類資源調査 (第二勇新丸、第三勇新丸) (2024/2025)	南極海	ナガスクジラ	2024/2025	第IV区東側海域	衛星	11
		クロミンククジラ			衛星	25
		ザトウクジラ			衛星	2
夏季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第七開洋丸) (2024)	北太平洋	ナガスクジラ	2024	北西太平洋	衛星	5
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2024)	北太平洋	ミンククジラ	2024	北西太平洋 オホーツク海 日本海	衛星	13

3. バイオプシー標本

	大海域	鯨種	年	中海域	採取個体数
南極海鯨類資源調査 (第二勇新丸、第三勇新丸) (2024/2025)	南極海	シロナガスクジラ	2024/2025	第IV区東側海域	12
		ナガスクジラ			18
		クロミンククジラ			35
		ドワーフミンククジラ			1
		ザトウクジラ			52
		ミナミセミクジラ			3
IWC-POWER 太平洋鯨類生態系調査 (第二勇新丸) (2024)	北極海 北太平洋	コククジラ	2024	チュクチ海 ベーリング海	3
		ナガスクジラ			7
		イワシクジラ			2
		ザトウクジラ			8
夏季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第七開洋丸) (2024)	北太平洋	ナガスクジラ	2024	北西太平洋	5
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2024)	北太平洋	ナガスクジラ	2024	北西太平洋 オホーツク海 日本海	5
		ミンククジラ			10
小型鯨類目視調査 (第七開洋丸) (2024)	北太平洋	ナガスクジラ	2024	日本海	1

4. 捕獲データ

	大海域	鯨種	年	中海域	陸揚数	調査数	調査項目	捕獲の種類
母船式捕鯨業 (2024)	北太平洋	イワシクジラ	2024	北西太平洋	25	25	27	商業捕鯨
		ニタリクジラ			175	175	27	
		ナガスクジラ			30	30	27	
基地式捕鯨業 (鮎川事業所) (2024)	北太平洋	ミンククジラ	2024	日本沿岸	10	10	25	商業捕鯨
基地式捕鯨業 (八戸事業所) (2024)	北太平洋	ミンククジラ	2024	日本沿岸	36	36	25	商業捕鯨
基地式捕鯨業 (網走事業所) (2024)	北太平洋	ミンククジラ	2024	日本沿岸	16	16	25	商業捕鯨
基地式捕鯨業 (釧路事業所) (2024)	北太平洋	ミンククジラ	2024	日本沿岸	25	25	25	商業捕鯨
		ニタリクジラ			4	4	26	

5. 定置網による混獲

鯨種	頭数	都道府県 ¹⁾	状態 ²⁾	漁具	漁獲対象種	連絡先
ミンククジラ	7	北海道	K	定置網	不明	水産庁
	4	青森	K	定置網		
	10	岩手	K	定置網		
	7	宮城	K	定置網		
	1	千葉	K	定置網		
	1	神奈川	K	定置網		
	1	新潟	K	定置網		
	1	新潟	R	定置網		
	8	富山	K	定置網		
	6	石川	K	定置網		
	1	福井	K	定置網		
	1	静岡	K	定置網		
	3	三重	K	定置網		
	2	和歌山	K	定置網		
	3	島根	K	定置網		
	4	山口	K	定置網		
	2	高知	K	定置網		
	11	長崎	K	定置網		
	5	宮崎	K	定置網		
	2	鹿児島	K	定置網		
ナガスクジラ	2	岩手	K	定置網		
	1	宮城	D	定置網		
	1	島根	D	定置網		
ニタリクジラ	1	岩手	K	定置網		
ザトウクジラ	1	千葉	D	定置網		
	1	和歌山	R	定置網		
	1	長崎	D	定置網		
	5	沖縄	R	定置網		
種不明大型鯨類	1	神奈川	R	定置網		
	1	鳥取	R	定置網		

1) 漁具の設置された都道府県ごとに記録。

2) 状態: D = 死亡(廃棄, 埋設等), K = 死亡(販売ないし標本保管), R = 生存(放流)。

6. 座礁

鯨種	頭数	都道府県	連絡先
ミンククジラ	6	北海道	水産庁
	3	青森	
	1	神奈川	
	1	和歌山	
	2	鹿児島	
ナガスクジラ	1	北海道	
	1	福井	
	1	兵庫	
	1	鳥取	
	1	島根	
ザトウクジラ	1	北海道	
	2	千葉	
	1	高知	
	1	沖縄	
マッコウクジラ	3	北海道	
	1	岩手	
	2	福島	
	1	茨城	
	1	千葉	
	1	三重	
	1	大阪	
	1	鹿児島	
種不明大型鯨類	1	鳥取	

7. 印刷物

- Best, P.B., Ohsumi, S., Kato, H. and Donovan, G.P. 2024. The SOWER programme in the Antarctic: Background, aims and objectives. *J. Cetacean Res. Manage.* (special issue) 4: 1–11.
- Goto, M., Tamura, T., Bando, T. and Yasunaga, G. 2024. Genetically identified J-stock common minke whales: an overview of their biological and ecological features in waters around Japan. *Cetacean Population Studies*. <https://doi.org/10.34331/cpops.2022-Re-001>
- Igarashi, K., Tanabe, A., Sahara, H., Nozaki, R., Kondo, H., Katsumata, T., Tamura, S., Yamakoshi, T., Mori, M., Miyagi, M., Nakamura, G., Kanda, N. and Murase, H. 2025. Application of DNA Methylation–Based Age Estimation to Construct an Age Structure of Humpback Whales in a Newly Emerged Wintering Ground Around Hachijojima Island, Tokyo Metropolis, Japan. *Ecology and Evolution*. 15: e70854. <https://doi.org/10.1002/ece3.70854>
- Kato, H., Matsuoka, K., Nakamura, G. and Best, P. B.: Sightings of dwarf minke whales in the Southern Hemisphere during the SOWER cruises. *J. Cetacean Res. Manage.* (special issue) 4: 63-68.
- Konishi, K., Minamikawa, M., Kleivane, L. and Takahashi, M. 2024. Annual phenology and migration routes to breeding grounds in western-central North Pacific sei whales. *Scientific Reports*.

14:11212. <https://doi.org/10.1038/s41598-024-61831-8>

- Olson, P.A., Kinzey, D., Double, M.C., Matsuoka, K. and Findlay, K. 2024. Capture–recapture estimates of Antarctic blue whale abundance and population growth rate. *Marine Mammal Science*, e13215. <https://doi.org/10.1111/mms.132150>
- Pastene, L.A. 2024. A review of biopsy sampling experiments and studies of stock structure, phylogeny and taxonomy of large whales based on samples obtained on SOWER cruises. *J. Cetacean Res. Manage.* (special issue) 4: 43–62.
- Sekine, A., Yasunaga, G., Kumamoto, S., Fujibayashi, S., Munirah, I., Bai, L., Tani, T., Sugano, E., Tomita, H., Ozaki, T., Kiyono, T., Inoue-Murayama, M. and Fukuda, T. 2024. Characterization of common minke whale (*Balaenoptera acutorostrata*) cell lines immortalized with the expression of cell cycle regulators. *Advanced Biology* 8(3): e2300227. doi:10.1002/adbi.202300227.
- Shabangu, F.W., Stafford, K.M., Findlay, K.P., Rankin, S., Ljungblad, D., Tsuda, Y., Morse, L., Clark, C.W., Kato, H., Ensor, P. 2024. Overview of the SOWER cruise circumpolar acoustic survey data and analyses of Antarctic blue whale calls. A special issue focusing on the analysis of data gathered during the IWC SOWER cruises which ran from 1978/79 to 2008/09. *J. Cetacean Res. Manage.* (special issue) 4: 21-41.
- Takahashi, M., Førlund, B., Pastene, L.A. and Skaug, H.J. 2024. Geographical distribution of close kin in southern right whales on feeding grounds. *PLoS ONE* 19(4): e0301588. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0301588>
- Ten, S., Poli, F.F., Konishi, K., Pastene, L.A., Martín, V., Raga, J.A. and Aznar, F.J. 2025. The epibiont *Xenobalanus globicipitis* indicates differences in swimming kinematics among cetaceans. *Mar Biol.* 172: 7. <https://doi.org/10.1007/s00227-024-04555-7>
- Yanai, R., Yasunaga, G., Tsuji, S., Honda, T., Iwata, A., Miyagawa, E., Yoshida, K., Kishimoto, M., Sakai, H., Fujise, Y., Asagiri, M. and Mitamura, Y. 2025. Dietary intake of whale oil–containing ω -3 long-chain polyunsaturated fatty acids attenuates choroidal neovascularization in mice. *The FASEB Journal*. 39: e70378. doi:10.1096/fj.202402041R